

て
ど
り
し
み
ず

- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

手取清水遺跡は、横手市の西端に近い標高四〇・三〜四二・九m



土遺構三基、その他の遺構

木簡は、遺跡中央部を流れていたと考えられる幅二二～二三m、

器・下駄・鋤などの木製品多数がある。

木簡の釈文・内容

- (1) $\begin{matrix} \times \\ \square \\ \text{ト} \\ \text{チ} \\ \times \end{matrix}$

$$(31) \times (82) \times 2 \quad 081$$

(2) せん

(194) × (38) × 4 081

(3)

□
□
ほ
□

おこ
□ ×

〔とカ〕

(99) × (45) × 3 081

(4) (符籙) 鬼鬼鬼 $(91) \times (16) \times 4$ 081

(山崎文幸)

(5)

	・	「 □ □	[飯力]	
人拾捌 女十二人	(7)	一斗	□ □	
男六人			□ □	
合物陸種			□ □	
			飯	
		□ □	丸子部	
		□ □	稻一	□ □
		□ □	飯	□ □
				[冊力]

津守部 □□
日部継人 □□

廩部 □□□□

嶋部 □□□□

物部子 □□□□□□

置子 □□□□
(倉刀自力)

日 [奉余力] □□□□□□ □ [刑力] [刀自力] □□部□□□□□□



(西 津)

状地に営まれた遺跡で、標高約二・〇kmには、高瀬川と合流する鱒川が北流している。周辺には、縄文時代から平安時代の遺跡が点在している。東方約一・五kmには、「若狭国三方郡能登里中臣廣足一斗……」と記された付札木簡及び「西家」等の墨書土器が出土し官衙跡と考えられる田名遺跡が所在

福井・かどや角谷遺跡

- 1 所在地 福井県三方郡三方町向笠
- 2 調査期間 一九八八年(昭63)三月、五月～六月
- 3 発掘機関 三方町教育委員会
- 4 調査担当者 田辺常博
- 5 遺跡の種類 集落跡
- 6 遺跡の年代 三世紀末～一〇世紀
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要